

## 「筆の都」の新都創生プロジェクト（概要）

～魅力ある「筆の都熊野町」の創出に向けて～

本町では、第4次熊野町総合基本計画において「三世代が住みよい 緑の生活創造都市」を基本理念とし、その実現に向けて各種施策に取り組んでいます。

このたび、以下のような本町を取り巻く環境を把握した上で本町独自の特徴を活かし『**「筆の都」の新都創生プロジェクト**』を立ち上げ、交流人口の増加を図ることにより、定住の促進や各種産業の育成に取り組めます。

### 取り巻く社会情勢

- ・ 三位一体の改革により、税源の偏在や地方交付税の縮減など、地域間の財政格差が拡大しています。
- ・ 少子高齢化や産業構造の変化等に伴い、地方活力が低下し将来に対する不安が拡大しています。
- ・ 人生観・価値観の多様化や家族単位の縮小等に伴い、選択的定住化が進展しています。
- ・ 世界的な大交流時代、アジアを中心とした新大航海時代がじきに到来すると予測されています。
- ・ 地域活力の発展・創造による地域間競争が次第に激化すると予測されています。

### 我が町の強み

#### <筆産業>

- ・ 本町には、約170年の歴史と全国80%のシェアを誇る伝統的工芸品「熊野筆」があります。
- ・ 「熊野筆」は、伝統的な技法により、高品質な化粧筆の生産で新たな活路を開いています。
- ・ ハイテクの対極にある手仕事の筆づくりは、高品質な Made In Japan の原点です。

#### <地勢・自然>

- ・ 本町は瀬戸内の沿岸地域ながら、標高250メートルの高原盆地を形成しています。
- ・ 自然豊かな四周山地が都市侵食を拒み、伝統産業を伝承しています。
- ・ 広島・呉・東広島に近接しています。

### 新都創生の方向性

- ・ 「熊野筆」を活かした交流人口の増加によって、本町への定住を促進します。
- ・ 交流人口の増加によって、各種産業（小売業・飲食店・宿泊業・農業等）を育成します。
- ・ 交流人口の増加を図るため、滞在拠点、周遊型産業観光事業所、ルート上の観光施設の整備等を促進します。

### 短・中期的な取組

#### <短期的（19年度～3年以内）>

- ・ 観光情報発信の強化、各種イベントの有機連携による集客の増加を図ります。
- ・ 筆産業後継者育成の推進及び観光・イベントボランティア育成のための基盤を強化します。
- ・ パイロット事業（産業観光基盤整備、起業支援等）に取り組めます。

#### <中期的（5年見当）>

- ・ 産業観光の基盤整備、起業支援の強化・推進を図ります。
- ・ 滞在観光の拠点施設を整備します。

### 位置付け

「頑張る地方応援プログラム」(\*)に係るプロジェクトに位置付けて取り組めます。(19～21年度)

(\*) やる気のある地方が自由に独自の施策を展開することにより、「魅力ある地方」に生まれ変わるよう、地方独自のプロジェクトを自ら考え、前向きに取り組む地方自治体に対し、地方交付税等の支援措置が講じられるもの。(総務省所管)